



第21号
発行所

近畿大学農学部緑友会
広報・編集委員会
編集委員長 奥村 博司
631-8505 奈良市中町3327-204
TEL: 0742 (43) 1511
http://www.nara.kindai.ac.jp/

近畿大学の卒業生が利用できる サービスをご存知ですか？

緑友会会長 松田 克礼



緑友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、皆様方には平素から緑友会に格別なご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

先日、近畿大学東京センターに行く機会がありました。場所はJR「東京駅」八重洲中央口徒歩1分。駅を出て前方を見上

選ばれる、好かれる、 喜ばれる農学部を目指して！

農学部長 重岡 成



緑友会の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より農学部発展のため、多大なご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰さまで近畿大学の受験

者総数も3年連続日本一、農学部受験者総数も約15000人を維持しています。在校生の農学系女子（ノケジョと言います）も、全体の40%を占めています。これも環境、生命・健康、食糧というキーワードで、農学部としてのブランド力を高め、農学部らしさをさらに発揮すべく、教職員の知力を結集した、日々の精進の賜物と思っています。事実、クロマグロだけでなく、ナマズの蒲焼き、

なたな人生の門出に近畿大学の学長からお祝いのメッセージを届けて頂きます。医学部附属病院では、PET/CT検査を卒業生の割引価格で受けることができます。法科大学院リーガルクリニックでは、無料法律相談を受けることができます。卒業生は近畿大学の図書館を利用できます。その他の特典や利用方法については、近畿大学ホームページの「卒業生向けサービス」に掲載されています。

また、学生時代の同級生や先輩・後輩の連絡先を知りたい時、退職された先生の様子を知りたい時には、緑友会の事務所にお問い合わせください。可能な限り対応させていただきます。どうぞお気軽にご利用ください。最後になりましたが、皆様方の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

攻める近大農学部

事務長 伊藤 博樹



農学部緑友会会員のみなさまには、日頃から大変お世話になっております。

みなさまがご卒業された近大農学部は飛躍的に発展しており、2016年度入学試験におきましても受験者数が順調に推移しています。それ故、合格切手を手にすることが大変難しくなっております。

また、産官からの反応も非常に良く、外部から獲得した研究資金（受託・寄附研究、科研費等の補助金）は、2015年度で138件、総額2.9億円あまりにのぼり、本学部への期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

2015年度卒業生は、学部へへの期待の大きさを感じております。

平成27年度 緑友会賞受賞者一覧

博士後期課程

専攻	氏名	テーマ
環境管理学専攻	井 藤 大 樹	The study on the systematics of the opsariichthine fishes (Teleostei: Cyprinidae) (コイ科ハス類の系統分類学的研究)

博士前期課程

専攻	氏名	テーマ
農業生産科学専攻	保 坂 春	異なる餌およびバンカー植物でのタバコカスミカメの増殖能力
水産学専攻	住 慶 太 朗	ゼロエミッション型社会の構築に向けた水産廃棄物の有効利用～ハモ骨抽出物による抗腫瘍効果～
	谷 和 樹	養殖クロマグロにおける寄生虫症の防除に関する基礎的研究
応用生命化学専攻	大久保 麻 里	柿ポリフェノールの食後血糖上昇抑制作用
	夏 原 千 怜	Mortierella capitata を用いたネルボン酸の発酵生産
環境管理学専攻	入 口 友 香	核DNA上の新領域を対象としたヒメダカによる遺伝的攪乱の検証
バイオサイエンス専攻	白 川 友 美	キチン信号伝達経路におけるMAPKKK5の機能解析
	三 輪 瞬 平	イネ苗立枯細菌病菌Burkholderia plantariiにおける三成分情報伝達機構の解明

緑友会へのご寄付お願い

このたび緑友会は、会報発行をはじめ卒業生名簿の管理、緑友会賞の授与などの緑友会活動のさらなる活動充実の為の原資として卒業生のみなさまに寄付をお願いする次第です。経済状況が厳しい折に誠に恐縮でございますが、緑友会の現状をご理解頂き、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお寄付金は一口5,000円とさせていただきます。お振り込みの際には、氏名、卒業年度を合わせてお知らせ頂きますようお願い申し上げます。（お手数ですが、お振り込み後にお電話またはメールで、ご住所、お名前、卒業年度をお知らせ頂ければ幸いです）

〇振込口座〇

三菱東京UFJ銀行 富雄出張所
普通 3574857
近畿大学農学部 緑友会

〇連絡先〇

近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273 (2030)
E-mail ryokujim@nara.kindai.ac.jp

寄付者芳名一覧 (2015年度ご寄付分)

高谷 政広 様 (昭和45年度 農芸化学科)

ご協力ありがとうございます。

今後も会員相互の親睦を深め母校の発展に寄与して参りたいと考えております。どうかご支援賜りますようお願い申し上げます。（注）公開をご希望されない方については、掲載していません



KINKI UNIVERSITY から
KINDAI UNIVERSITYに変更になりました。

松田 克礼



安藤 正史



当学科では、本年4月に小林靖尚准教授、渡邊俊講師が水産生物学研究室教員とし



A group of people, including children and adults, are standing on a dirt path next to a small, murky pond in a lush green forest. Some people are looking into the water, while others are talking. A small wooden bridge or structure is visible in the water. The scene is surrounded by dense trees and foliage.

バイオサイエンス学科
学科長
加藤 容子



当学科では、平成23年度に開始した、深溝慶教授を中心とする私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「環境調和を志向した革新的植物アグリバイオ技術の統合型研究拠点の形成」が成功裡に終了しました。若手教員・研究員、大学

院生の研究活動が活発に推進され、マスコミ等にも多く取り上げられました。学生の進路面では、大学院への進学や公務員志望者が増え、近年、医療分野（胚培養士など）で活躍する卒業生も増えつつあります。また、最近では、卒業生のご子息・令嬢が入学されることもあり、大変嬉しい限りです。今後とも皆様方のご支援ご協力、また叱咤激励をどうぞよろしく願います。



木村 正則・赤羽 仁志・西垣 佐理・ロバートシヨーンシェリダン

太字・新任

新任の挨拶

農業生産科学科 畜産工学研究室
准教授 築山 拓司

平成28年4月1日付で農業生産科学科畜産工学研究室に准教授として着任いたしました築山拓司と申します。私は、平成10年に本学農学部を卒業後、京都大学大学院農学研究科へ進学し、同研究科で10年間助手・助教を務めました。出身研究室に教員として戻って来られたことをとても幸せに思っております。

私は、これまでにイネを研究材料として、主にトランスポゾンによる生物進化の解明と育種への応用に関する研究に取り組んできました。トランスポゾンの活動を制御する手法が開発できれば、生物の種分化や進化を意図的に促進させることができるかもしれません。そして、この技術を育種に応用すれば、これまでにはない特性をもつ品種を開発できると考えています。

これまでの経験と近畿大学の特色・伝統を融合し、研究・教育に邁進することで、社会に貢献できる人材を育成したいと考えています。緑友会会員の皆様のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

農業生産科学科 作物学研究室
助教 廣岡 義博

平成28年度4月1日付で農業生産科学科作物学研究室の助教として着任いたしました廣岡義博と申します。昨年度、京都大学にて学位を取得しました。これまでではアジアの農家を対象に研究しており、そのための基礎研究も大学農場で行ってきました。これらの地域では、栽培されている作物の生育情報が不足していることにより、生育環境や栽培技術の改善が進んでいない現状があります。そこで、私の研究では衛星画像をはじめとする様々なリモートセンシング

技術を用いることで、これらの情報を簡易的に収集する手法の開発を行ってきました。

近畿大学では、現在までに行ってきた研究を深めるとともに、新しいことにも積極的にチャレンジし研究の幅を広げたいと思っています。また、教育経験はほとんどありませんが、講義や実習などを通して学生とともに自分も成長していければと考えています。どうかご指導・鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

水産学科 水産生物学研究室
准教授 小林 靖尚

平成28年4月1日付で水産学科水産生物学研究室に着任した小林靖尚と申します。私は岐阜県出身で、長崎大学水産学部を卒業後、北海道大学理学部にて学位を取得しました。その後、琉球大学で研究員を務めた後に、岡山大学の臨海実験所にて助教を務め、この近畿大学に参りました。

専門は「魚類生殖生理学」で、これまで様々な種類の魚を対象として、それぞれの魚の繁殖様式や性に関する研究に携わってきました。特に、性を変化させる魚(性転換魚)に深い興味を持って研究を進めています。また基礎的な研究で得られた知見を、増養殖技術に応用することも平行して進めています。

今後は、これまでの経験を活かした研究と教育による人材育成に邁進し、近畿大学農学部を盛り上げ、日本の水産業の発展に貢献したいと考えております。緑友会会員の皆様のご指導・支援を賜れるように頑張りますので宜しくお願い致します。

水産学科 水産増殖学研究室
教授 澤田 好史

これまで主な所属は水産研究所で水産学科教員を兼任していましたが、本年4月から水産学科が主な所属、水産研究所教員が兼任となりました。

私の専門分野はクロマグロをはじめ、マダイ、カンパチ、トラフグなどの人工種苗生産技術の開発ですが、近年はマグロ類等の遺伝・育種にも分野を広げています。両分野は飼料開発と並んで養殖における技術的基盤となるものです。

今水産学科、水産研究所を取り巻く研究・教育環境は大きな変化の時を迎えています。大学グローバル化、世界人口増で予想される食糧不足に向けて水産業・養殖業が国外では急激に発展しつつあるのに対し、国内では世界トップと言われたこれらの産業低迷があります。今後は水産研究所のバックグラウンドを活かし、チームワークで水産養殖の課題解消の鍵となる技術革新と、その成果を応用して海外活動にも力を入れ、卒業生の活躍の場作りと日本企業の水産での海外進出に貢献してゆきたいと存じます。

水産学科 水産生物学研究室
講師 渡邊 俊

本年4月に講師として着任いたしました渡邊俊と申します。これまでの研究は、海と川を回遊するウナギとボウズハゼの回遊生態でした。今後の研究では、ボラ、イシマキガイ、テナガエビなどの水圏生物を対象を広げ、あらゆる方法を用いて、彼らの生き様を調べたいと考えています。この結果から、「なぜ水圏生物は環境の違う海と川を行き来するのか?」の原理や仕組みを理解したいと思っています。研究を通じて、学生と共に「知る」よりも「分かる」という理解の積み重ねを経験し、分かった時の爽快感や感動も是非、学生と共有することを期待しています。また、学生と一緒に研究を楽しみ、その結果を担当している講義、実験、実習へ活かしたいと考えます。教育と研究に邁進し、行動力とリーダーシップを発揮できる、コミュニケーション能力の高い学生を育てていきたいと思

います。緑友会会員皆様のご指導・支援を賜りますようお願い申し上げます。

食品栄養科学科 給食経営管理研究室
講師 安岡 美総

今年3月までの4年間、大学生として通った近畿大学に4月から就職しました。教員として通う近畿大学は、見慣れた場所なのに、今までは違って見えませんでした。初めて教員としての学生に関わる中で、教員としての態度や発言に責任を強く感じるようになったと同時に、授業に関しても、研究に関しても分からないことが多くて学生にきくと指導できない自分にながいのことを教える機会が多くなり、周りの多くの先生方に教員としての在り方や研究者としての考えなど、多くのことを教えて頂き、少しずつですが、分かること、出来ることが増えてきました。今は目の前の事に精一杯で、まだまだ未熟な私ですが、今後は教員として、研究者として、早く一人前になれるよう、努力を続けていきたいと思っています。

こんにちは。ロバート・シェリダンです。4年前から非常勤講師として農学部で働き、4月から特任講師として働くことになった半年がたちます。思っていた通りキャンパスの雰囲気がとても良く農学部の学生の能力が高い事に教員としてやりがいと喜びを感じています。また、たくさんさんの良い教員と職員とともに働く事ができて幸いです。農学部の学生には使える英語を目標に日々学んでほしいと取り組んでいます。そのために私は(1)学生が実社会に批判的に関わる事ができるような指導し、(2)学習を継続する上で必要なスキルと方法を提供し、(3)コミュニケーション能力の際にぶつかる壁を乗り越える

教養・基礎教育部門
特任講師 ロバート・シェリダン

力や育むことに力を注ぎ、最終的には、学生が実社会へと踏み出す際に、大学で習得した言語能力を活かすことができるよう支援したいと思っていますので、これからも学生とともにお互いに成長できる様に頑張っていきたいと考えています。

新1日

退任の挨拶

前農業生産科学科 教授
吉田 元信

緑友会の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。本年3月末日に農学部を退職いたしました。昭和六十一年に近畿大学に奉職して以来、三十九年間勤務いたしました。多くの卒業生と教育・研究に取り組めたことは一番の思い出であり、またゼミ旅行では楽しい時間を共有できました。しかし、ここ数年感じますことは、学生諸君の実験に対する踏ん張りが利かなくなつたことで、少々危惧しています。学校運営面では、農業生産科学科に新しい資格取得コースとして、アグリビジネスマイスターコース導入のお手伝いを出来ましたことは、良い経験となりました。その後も年々進化していることは誠に喜ばしい限りです。平成二十年近畿大学農学部創設五十周年記念の記念誌発行の編集長の仕事は懐かしい思い出となりました。また、共同利用センター奈良分室長として十年の長きに亘り務めさせていただき感謝と同時に、もう少しサービス部門として組織化

ができればの思いが残っています。研究面では、未だ完全燃焼とは至らず、今少し続けていき、結論を得たいと考えています。教育面では、他大学で小学校教員を目指す学生に対し、理科を教えて、理科に強い小学校教員を育てたいと頑張っています。

前農業生産科学科 教授
豊田 秀吉

昭和54年3月に京都大学大学院農学研究科博士課程を修了し、翌年7月に農学博士の学位を取得した後、日本学術振興会の奨励研究員を経て、昭和56年4月に近畿大学農学部(植物病理学研究室)助手に赴任しました。この年から、研究者としての生活が本格的に始まりました。以来、助手と講師でそれぞれ4年、助教(准教授)で9年の歳月を経た後、教授として18年間、研究と教育に邁進することができました。本年の3月で定年退職を迎えることになりましたが、思えば、35年の長きに渡り、近畿大学に護られ、育てられてきたことに今更ながらに思いが巡ります。今は、ただただ、近畿大学の教員になったことに、限らない喜びと誇りを感じています。これからは、一人のサポーターとして、近畿大学農学部の益々の発展を心から応援したいと考えております。最後になりましたが、会員の皆様のご健勝をお祈りして、退任の挨拶に代えさせていただきます。

前水産学科 准教授
有路 昌彦

2009年4月に水産学科水産経済学研究室の准教授として赴任し、2016年3月までの7年間農学部にお世話になりました。34歳だったはじめの年、

できる限り現実には即した内容を学生に伝えられるように講義をどのようにするのか、ゼミなどのように指導するのか、悩まながらの毎日だったところを、周囲の先生方にご助言いただくことで少しずつ形にしていけることができたことを覚えています。7年間で指導した学生は多くが社会に羽ばたいていきましたが、今でもたびたび会うこともあり、素晴らしい人の出会いを作る場であったと思います。研究はともしてもしやすい環境で、COEから政策研究の研事業、科研まで取り組むことができ、農学部の皆様のおかげだったと深く感謝しております。森に囲まれた美しいキャンパスの中で農学部の皆様と学生たちと過ごした7年間は私にとって人生の宝であり、これから社会へ貢献していく中でも皆様の恩恵は忘れません。ありがとうございます。

前水産学科 准教授
伊藤 智広

緑友会会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。近畿大学での5年間という短い任期間ではありましたが、多くの業績を残すことができました。これは指導学生はもちろん、学部教職員および事務職員の皆様方の多大なサポートをいただくことができたからこそ感謝申し上げます。所属しておりました水産利用学研究室では3、4年生および大学院生を含め50名ほどとなりました。これはほどの大所帯をこれまで経験したことがなく統率には苦労しましたが、皆で交流する各種行事は楽しいモノでありました。研究面や教育面(担任業務等)ともに多くの学生をどう指導しようか効率ばかり考え、学生の皆さんには苦労させたかもしれないませんが、皆の頑張りを受賞した公益財団法人日本水産学会奨励賞は私の誇りでありま

す！

さて、この4月からは三重大学大学院生物資源学研究所に水圏材料分子化学教育研究分野准教授として着任しております。研究室では、水産物やその加工廃棄物に含まれる機能性成分の探索とその機能メカニズムをモデル細胞や動物を用いて検証しております。三重大学では「三重から世界へ」を目標に、地域発展に寄与し、世界に誇れる独自性豊かな研究が求められています。私の研究成果も5月に開催されました伊勢志摩サミットのように、世界へ発信できるように日々精進する所存であります。しかし、まだまだ未熟者でありますため、研究面や開発面において皆様のご支援、ご協力が必要と致します。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。最後になりますが、近畿大学農学部ならび緑友会の皆様のお心より感謝しております。

研究成果を得ました。形成期間に政権政党が代わって多少の苦労もありましたが、最終的に素晴らしい評価も得られ全員で安堵しました。なお、この頃から農学研究科の先生方と親密になり、大学・大学院教育について語り合えたことも幸せでした。最後になりましたが、会員皆様のご健勝ご多幸と、近畿大学農学部の永久の発展を祈念し、退職のご挨拶とさせていただきます。

前食品栄養科学科 助手
稲村 真弥

平成28年3月をもって契約満了により退職いたしました。私は、食品栄養科学科を卒業し、博士前期課程を修了後、社会人経験をを経て、平成25年に近畿大学食品栄養科学科助手に着任いたしました。農学部の教職員の皆様には親切にご指導いただき、心より感謝しております。

私は、在学中に卒業研究と国家試験の勉強の両立を経た経験から、在学生に自分自身で問題を解決する能力や目標を達成するまで諦めない気持ちを持ち、後悔のない学生生活を送ってほしいと思ひながら勤務しておりました。現在は結婚したこともあり、新転地にて近畿大学で学んだことを活かしながら過ごしております。

最後になりましたが、近畿大学農学部ならびに緑友会の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。



訃報
農芸化学科 名誉教授 山縣 敬先生が
ご逝去されました。(平成二十七年十一月)
水産研究所所長・特任教授 宮下 盛先生が
ご逝去されました。(平成二十七年十一月)
ご冥福をお祈りします。

新入生の夢

将来の夢

農業生産科学科

本田 雄也

私は、幼い頃から自然が多い環境で育ち、小さい頃から動物と触れ合いながら遊んできました。その中でもとくに昆虫に興味を持ちようになり、昆虫採集をしたり、家ではクワガタの繁殖もしたりしていました。幼い頃は昆虫と触れ合って遊ぶだけでしたが、祖父の農業を手伝う中で、昆虫に関する多くの疑問が出てきました。とくに、祖父は害虫に困っていました。農業の使用は嫌う人だったため、その防除に悩んでいました。しかし、昆虫には人間に困らせる害虫もいれば、人間に役に立つ昆虫もいます。それらの昆虫に関する知識をもっと増やしたいと思い、農業生産科学科を志望いたしました。

大学での講義はまだ始まったばかりですが、昆虫に関する授業だけではなく、農学に関する授業が多くあるため、それらの授業から農学に関する知識を貪欲に学んでいきたいと思っています。将来の夢は、まだ明確に決まっていますが、大学で得た知識を生かし、農業に貢献していけるような職業に就きたいと考えています。

夢

水産学科

光田 里音

私には将来、水族館の飼育係になるという夢があります。私は幼いころから両親に水族館に連れて行ってもらったことが多く、そのため自然と魚が

好きになっていました。しかし、小中学生の時にあまりにも多くの人が水産や魚のことを知らず、中には馬鹿にするような人までいました。だからこそ私は多くの人に水産について知ってもらい、重要性を理解してもらえようかなと、飼育係になりたいと思います。そしてその後、その夢を叶えるために京都にある水産高校へと進学し、そしてその夢を追うために私は今この近畿大学農学部に入っています。私は近畿大学で好きな魚だけでなく、もっと広い視野を持ち水産に関する様々な知識を自分自身で積極的に集め貪欲に吸収していくこと、それと同時に学芸員やTOEICなどといった自分の武器にできる資格の取得にも励み、自分の夢へと全力で進んでいきたいです。そして自分は多くの人に支えられていてことを忘れず、常に感謝の気持ちをもって4年間を過ごしたいと思っています。

私の夢

応用生命化学科

入江 翔太

私の将来の夢はまだ明確には決まっていますが、「人の命に関わり、少しでも多くの人の痛みや苦しみを、恐怖を取り除くことができる人になりたい」と考えています。高校生だった私は生物が得意で薬に興味がある、というものもあり薬学志望でいました。しかし、進路に関してあまり調べもせずに、半端な気持ちで志望していたので、薬学部で本当に良いのかという不安がありました。そのまま迎えた受験生の夏

休み、私は友達に勧めで近大農学部オープンキャンパスへ軽い気持ちで行きました。その日、進路に対する考えのすべてが変わりました。私にとってこの応用生命化学科は、食品、遺伝子組み換え、免疫、そして本命の薬のことまで幅広く、かつとても興味のある分野であふれていた。ここでならやりたいことが見つかる！やりたいことができる！そう確信しました。そして今、私は念願の大学でとても充実した大学生生活を送っています。私はここで夢を見つめ、そしてその夢を叶えられるよう精一杯努力したいと思っています。

私の夢

食品栄養学科

森内 莉那

私は小さいころから、人の役に立つ仕事がしたいと思っていました。どんな職業でも人の役に立つものだと思いましたが、その中でも私は医療従事者として人の役に立ちたいと考え始めました。私が小学校3年生の時に、父が胃がんになり胃の全摘出をしたために、管理栄養士による栄養指導を受けました。身近でこの仕事を見た時に、食を通じて人を助けられる仕事があることを知り、病院の管理栄養士に憧れを抱きました。「体を作るのは毎日の食事。薬で生きているわけじゃない。」以前、ネットニュースで見たこの言葉に感銘を受けました。一人の医師が言ったこの言葉の通り、人間の体は食事で成り立っているのではないかと考え、日ごろの食事が大切だと思いました。健康な人の毎日の食事も大切ですが、私は病気などで苦しんでいる人こそ、毎日の食事が重要になってくると考えています。食べる楽しさを感じることや、栄養のある食事を摂

私の夢

環境管理学科

岩崎 雄太

こちらの大学に入学してから既に二か月が経とうとしています。日々、新たな経験と共に自らが成長しているのを実感しています。そんな僕の夢は、様々な人と出会い、新たな自分を見つけることです。現状、生物研究会に入ってから様々な出会いがあり毎日が充実しています。そんな日々を送る僕ですが、やはり授業の内容の濃さにも圧倒されます。専門的な知識を含む授業はとても興味深く、特に「環境管理学概論」は凄く面白い授業です。この授業は先生方の様々な研究分野について教えて頂けるものとなっていますが、「農学は実学」と仰っている通り、学業



ることによって少しでも体調が良くなる。これが栄養療法で大切なことだと私は考えています。

おり、この役割を果たせられるような管理栄養士になるのが、私の夢です。

私の大学生活の目標

バイオサイエンス学科

西川 晃弘

私は小さいころから生き物が好きでした。自分の家の田んぼにいたカエルやザリガニ、カマキリなどを捕まえ、観察していました。また、家ではカメや魚を飼育していて生き物に多くふれあう機会がありました。

高校で進路に迷った時にはこうした小さいときの背景から、大学は生物関係のところへ行きたいと思いました。そして、近大のマグロの養殖が成功したとニュースになっていてそれが農学部だということ

を知り、農学部では植物だけでなく動物も扱うのだということに大変興味をわきました。そこで、インターネット調べ、オープンキャンパスに行くなどしてバイオサイエンス学科がもしろそうだと思いました。

入学してまだ間もなく、自分の知らない職業はまだまだあつて目標は定まっています。しかし、四年間というのはあっという間に終わってしまします。この短い四年間では今でしかできない多くのことを出来る限り経験し、学んでいきたいと考えています。



アーマリン近大は
安心・安全で美味しい養殖魚
を提供しています

近畿大学 水産研究所

大阪店 TEL: 06-6485-7108
大阪市北区大深町 3-1
グランフロント大阪北館 6 階
ランチ 11:00~15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)

銀座店 TEL: 03-6228-5863
東京都中央区銀座 6 丁目 2 番先
東京高速道路山下ビル 2 階
ランチ 11:30~15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)

※銀座店のみ・税は L.O. 21:00

大好評!!
近大マグロと選抜魚のお造り盛り

株式会社 アーマリン近大

【本社】〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1-5
TEL: 0739-42-4116 / FAX: 0739-42-2800
e-mail: info@armarine.co.jp
URL: http://a-marine.co.jp

あなたの企業のお手伝い
photo shop イナダカメラ

21世紀へ
ニューメディア
プリント

八尾市服部川7丁目153
TEL 0729 (41) 0909 / FAX 0729 (41) 0934
携帯 09037290909
E-mail t-inada@natural.zaq.jp
代表者 稲田 忠明 (農学科 昭和43年度卒)

城崎マリンワールド

この近さ、
想像以上。



私は近畿大学を卒業してから実家（愛媛県）で就農しました。今年、農家二年目になります。私の家では、主に伊予柑やせとか、不知火などの柑橘を栽培しています。昨年は農家一年目ということ、右も左も分からず祖父の背中を見て学びながら、という一年でした。

就農し柑橘を栽培
農業生産科（平成26年度卒）
三島 早稀



私は平成26年に農学研究科水産学専攻水族環境学研究室を卒業し、東洋冷蔵株式会社に入社し、現在は一ツオやキハダ、メバチマグロを取り扱っています。

魚食文化を支える仕事
農学研究科水産学専攻（平成26年度卒）
青木 隆一郎

大学では、生産から販売加工までの六次産業について学び、アグリビジネススマイスターを取得しました。それをきっかけに就農しましたが、剪定や消毒のやり方、天気による作業計画の立案など、まだまだ学ぶべきことがたくさんあります。しかし、剪定がうまくできた時の喜びと達成感はひとしおです。

今年度は、生産から販売加工までの六次産業について学び、アグリビジネススマイスターを取得しました。それをきっかけに就農しましたが、剪定や消毒のやり方、天気による作業計画の立案など、まだまだ学ぶべきことがたくさんあります。しかし、剪定がうまくできた時の喜びと達成感はひとしおです。

大学では、生産から販売加工までの六次産業について学び、アグリビジネススマイスターを取得しました。それをきっかけに就農しましたが、剪定や消毒のやり方、天気による作業計画の立案など、まだまだ学ぶべきことがたくさんあります。しかし、剪定がうまくできた時の喜びと達成感はひとしおです。



主な業務内容は国内外からの原魚の仕入れ、製品の加工、全国の量販店への営業、在庫管理および製品の販売と多岐に渡ります。学生時代から魚類に関心を抱くとともに、海外へ興味を持っていった私にとってこの上ない職場であると考え入社しました。

早朝から水揚げや競りに立会い、繁忙期には加工場での検品、全国への配送の手配等時間が経つ事も忘れるほど大忙しです。しかしその分、加工やラベルの提案等、自分が関わった魚が全国の量販店の売り場に並べられている様子を見ると感動もひとしおです。

早朝から水揚げや競りに立会い、繁忙期には加工場での検品、全国への配送の手配等時間が経つ事も忘れるほど大忙しです。しかしその分、加工やラベルの提案等、自分が関わった魚が全国の量販店の売り場に並べられている様子を見ると感動もひとしおです。

私は、化学メーカーである石原産業株式会社に入社し、主に国内で農薬の営業をしています。主な業務内容は、JAGグループや農業試験場等を介して、農家から農薬現場での雑草病害虫に関する問題を聴取し、解決策を自社の製品から提案して販売へとつなげる事です。大学時代の研究も農業に関する事だったので、基礎的な知識を活かす事が出来ました。しかし、大学での基礎研究とは異なり、いざ田畑に足を運ぶと、分からない事も多く、日々勉強させてもらっています。平成28年度からは、会社方針である除草剤の販売拡大に関わるタスクチームに加わる事になり、現在ではマーケティングに関する仕事にも取り組んでいます。

日本の農業にふれる
農学研究科応用生命化学専攻（平成23年度卒）
武田 健吾



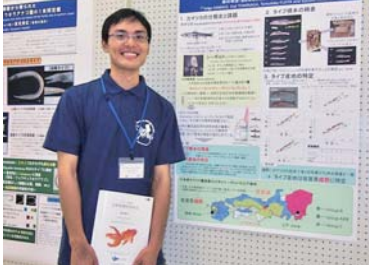
私は、奈良市内の保育園に勤務して4年目となります。現在、保育園の管理栄養士として献立作成や発注業務、調理補助、給食巡視、食育活動など食に関わる様々な仕事に携わっています。

子どもたちの1日の食事の必要量のうち約半分は保育園での昼食とおやつから摂取します。このように子どもたちの成長にとって重要な役割を果たす保育園の食育。私は、子どもたちの健康な成長と健康を願って、出来るだけ手

子どもたちの食に関わって
食品栄養学専攻（平成23年度卒）
松浦（高田） 奈美

生物多様性は近年、急速に失われ、人間社会にも様々なかたちで影響を与えています。そのため、私は人間社会の向かう方向を見直すために生物側の実態を明らかにしてヒトと生物の「共生」の道を探りたいと考え、人為的影響を受けやすい淡水魚を対象に生物多様性学、すなわち分類学の研究に打ち込みました。現在は（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所水生生物センターの調査員として働きながら、近畿大学農学部非常勤講師、琵琶湖博物館の特別研究員をさせていただいています。学生時代の研究を生かして、水生生物センターでは天然記念物イタセンバラをはじめとする淀川の淡水魚の調査研究や淀川の氾濫と魚類に関する企画展示などを行ない、近畿大学では博物館資料論や博物館実習で分類学・標本学の基礎を教え、琵琶湖博物館では琵琶湖の原風景に関する科研費の研究をしています。目指しているところは到底及んでいませんが、一つずつ研究を積み上げ、少しずつその成果を伝えていきたいと思っています。

生物多様性研究の必要性
「より良い社会を目指して」
農学研究科環境学専攻（平成25年度卒）
川瀬 成吾



保育園の子どもたちは、日々、身体も心も目をみはるほどに成長しています。私はこれからも保育園の管理栄養士として、食の面から子どもたちの健康や未来を支えていきたいと思っています。

また、そのように考えて作成した献立や給食の食材を題材として用い、保育士や調理員、大学、生産者などと連携して各年齢に応じた食育活動も行っています。

保育園の子どもたちは、日々、身体も心も目をみはるほどに成長しています。私はこれからも保育園の管理栄養士として、食の面から子どもたちの健康や未来を支えていきたいと思っています。

元々農業に興味があったため、農業における最先端技術を学ぶことができるバイオサイエンス学科に入学し、卒業研究は植物分子生理学研究室においてユングレナへの有用遺伝子導入技術について研究しました。農業発展には農家の所得面での安定及び向上が

日本の農業のために
バイオサイエンス学科（平成26年度卒）
土井 一馬

重要であるの思いから、現在は、全国農業協同組合連合会に入会し勤務しています。「農業」のワードからは米、野菜、家畜、農薬、農業機械等が思い浮かぶと思いますが、全農はこれらに加えて石油やガス、生活用品等幅広い事業を行うことで様々な面から農家をサポートし、国民に安定的に食料を供給できる体制を整えています。中でも私が担当している品目は国産麦です。

一口に麦といっても、パンや麺等に使用される小麦や麦ごはん、麦茶、ビール用等の大麦と多岐にわたります。このように様々な場面で使用される麦ですが、多くは外国産であり、輸入に頼らざるを得ない状況です。少しでも国内産のシェアを拡大し、麦農家の所得や自給率を上げる事が私の使命であり、日々仕事にやりがいを感じています。

近畿大学校友会 食品支部 会員募集中！

支部概要

設立 平成26年6月7日
支部長 李忠儒
年会費 5,000円
連絡先 支部長 李忠儒
株式会社 日本東泉
大阪市住之江区中加賀屋2-10-15
TEL 06-6682-2627
【事務局】事務局長 岡野邦男
立花容器株式会社
岡山県小田郡矢掛町浅海385-1
TEL 0866-82-3300

食品支部は、食品関連産業に従事する近畿大学校友会によって組織された『母校近畿大学の発展、会員相互の親睦と学びあい、ビジネスチャンスの繋ぎ』を目的とした校友会専門職支部です。

食品メーカーだけでなく、広く全国の農林水産業・飲食・小売・流通・機械・設備・梱包資材等、食品産業全般から参加を募っております。

総会や研修旅行を通じて信頼関係を高めつつ、多様なビジネスチャンスへ繋げていきましょう！

今年度より、2ヶ月に1回程度の例会も予定しておりますので、校友の皆様のご参加を心よりお待ちしております！

恒例海外研修旅行
2016年6月
台湾FOODEXに合わせて台湾
研修旅行に行きました！



2016年3月29日 第二回国内研修
立花容器株式会社（岡山県小田郡）



広報部 部長
世耕 石弘様にご講演頂きました。



2016年5月29日 第四回総会 記念写真

在学生だより

農学部という道

農業生産科学科
農業経営経済学研究室四回生
松井 一馬

私は農学部に入學して初めて農業というものを経験しました。自分達で畝を立てるところからスタートです。ひたすら土をかいて盛り上げていきます。その後マルチを張り、播種や苗を植えます。植えてからも定期的に施肥や水やりなども行います。そこまでのことをしてもちゃんと育たない時は育たないということも実感しました。それでもしっかりと育ったものを見るととても嬉しくなるということもわかりました。その後の収穫ですがこれが一番大変で収穫するときは命のある野菜の抵抗というものを感ずます。しっかりと根を張って育ててくれている証拠でもあるのですがとても骨の折れる作業です。収穫した後の野菜を販売することも経験させてもらいました。大学に入學し、このような経験を通して農業は小さなことの積み重ねと沢山の人たちの支えでできることを痛感し、野菜を食べる時は農家の人たちに感謝するようになりました。

周約2kmのコースを24時間かけてリレーし続け、その総合距離を競います。1年生の時に先輩に誘われたことがきっかけです。私は体力には自信がなかったが、その過酷さを身をもって知ることになりました。8月上旬に行われるため気温が高く、時間の経過とともに疲労がたまってきます。特に明るくなり始めて気温が上昇する早朝が精神的にも肉体的にも一番つらい時間帯です。私はこれを仲間とともに励ましあい走り続けました。そして24時間のマラソン行程を精一杯楽しみました。結果は1年生の時に2位、2年生の時は台風で中止でしたが、3年生の時はなんと優勝することができました。私はこのときの達成感と感動を忘れることはありません。

感動の24時間リレーマラソン
水産生物学研究室四回生
水産学科
鈴木 峻馬

私は陸上競技同好会に所属しています。このサークルでは関西の大学どうしで行う競技大会や駅伝、フルマラソンなどに参加しました。中でも最も達成感を感じたのは神戸で行われる24時間リレーマラソン大会です。10〜12人で1

大学生活を通して

応用生命化学科
森林生物化学研究室四回生
谷 清士郎

私の大学生活を振り返ってみると非常に充実したものでした。勿論楽しいことだけではなくありません。ですがそれ以上に多くの事を経験し、学んだ日々は新鮮でかけがえのないものでした。

入学当初こそは慣れない環境に不安を隠せませんでした。が、一月も経つと肩の力の抜き方を覚え、落ち着いて勉学に励むことが出来るようになりました。

一回生の後期には実験も始まり、レポートに追われる日々となり少し忙しくなりました。実験の内容は高校の時とは比べものにならない程度高度で理解が難しく、友達と集

まって勉強会をした事もありましたが今となってはいい思い出の一つです。

また、サークルは釣友会に所属していましたがそこでの日々こそ私の大学生活で一番の思い出だと思います。

一人で釣りに行くのではなく皆で行く事になりますが、一人で黙々と釣るのは違った楽しさがあるのを知りました。一回生の秋に参加した学生大会は初めて参加したこともあり、緊張してあまり釣れませんでした。先輩が釣り上げた魚で優勝した時はまるで自分のことかのように喜びました。

他にも沢山の思い出を共に作った先輩方や後輩達、そして同回生の仲間達との日々はこの先社会人になっても何年経ったとしても忘れることはないでしょう。

数々の思い出のある学生生活も残り一年を切り、卒業まであと僅かになりました。残り短くはあるけども、悔いの無い学生生活を送り、自信を持って社会に踏み出せるようになりたいと思います。

食品栄養学科の魅力

食品栄養学研究室四回生
栄養機能学研究室四回生
井村 奈月美

私が食品栄養学科に入ってから思ったことは、多くの方々に関わりを持つことです。食品栄養学科では、給食施設や病院、保健所で実習を行う他に、地域のお祭りに参加したり、地域の市場に屋台を出店させて頂いたり、外部に出て学ぶ機会をたくさん頂きました。保育所の給食施設

への実習では、現場の管理栄養士の業務について学ぶことはもちろん、保育士の方々の連携や子どもたちと給食を一緒に食べることで、嗜好やちよいと良い量、食材の大きさについて学ぶことが出来ました。市場では他大学で栄養学を学ぶ方々の料理を食べることができたり、市場の方

や近隣の方とお客さんとして関わることも出来ました。また、このように実習やグループワークが多いためグループ内でも仲を深められることも魅力の一つです。4年生になり、就職活動や国家試験の勉強、卒業研究など忙しくなりますが、切磋琢磨しながら真摯に向き合いたいと思います。



3年生からの研究室

バイオサイエンス学科
動物分子遺伝学研究室四回生
森田 育弘

私は入学当初から漠然と動物系の遺伝子に関する研究がしたいと考えていました。それは、中学校・高校と理科の生物分野が好きで特に遺伝の分野が好きだったからです。そんな理由もあり動物分子遺伝学研究室への分属を志望しました。分属された3年次から専門実験や専門英語が始まり不安でいっぱいでしたが、専門実験では研究室に関わる基本的な実験を行い、その都度、先生方の講義を受け理解を深めることができました。専門英語では、初めて英語の

論文を自分たちで読むこともあり、かなり苦戦をしましたが専門英語を通して英語だけでなく専門的知識を身につけることができ、非常に充実したものでした。そして当研究室ではマウス棟のボトル・ケージ洗浄があり、学生でグループを組み、分担して行っています。大変な部分もありますが動物系の研究室ならではの、とても貴重な経験をさせて頂いています。現在、私は教員を目指しており研究の傍ら日々勉学に打ち込んでいます。研究室の友人も就職活動や大学院への進学等、目標が様々ですが一人ひとりにあった研究テーマを先生と相談し実行しています。

研究室にはいつ

環境管理学科
保全生態学研究室四回生
本影 奈那

私は昨年新設された、保全生態学研究室に所属しています。この研究室では研究とフィールドワークの両方を行なっています。

3回生の実習は、人間活動と生物多様性の関係について理解するために、希少魚ビオトープの水田を耕すことから始まりました。3回生の間は

修行だ！とのことであつたので、完全無農薬、全て人力で水田の管理をしていました。雑草やモグラと戦い、イノシにも田んぼを荒らされてしまつていて、改めて農学部が山々に囲まれていることを認識させられました。荒らされたしまつたが、なんとか収穫できたお米をおにぎりにして収穫祭を行なうことができました。

他にも実習では、保全活動の一環で環境教育を行ないました。小学生に生物多様性についてわかりやすく説明することはなかなか難しいことであると実感しました。他にも、農業や遺伝についての研究も学ぶことが出来、幅広い視野をもつことが出来ました。

私は、卒業研究として地域のメダカの遺伝的多様性を守る手法について行ないます。4回生となり学生生活はあと1年を切りました。悔いの無いよう全力で取り組みたいと思います。

した。小学生に生物多様性についてわかりやすく説明することはなかなか難しいことであると実感しました。他にも、農業や遺伝についての研究も学ぶことが出来、幅広い視野をもつことが出来ました。



いのちをつなぐ企業
株式会社アクアテイメント



06-6955-9681
info@aquataiment.jp
代表 松前(西林) 水産学科2005年卒業



イネーブルガーデン (園芸療法ガーデン)

大学院生だより

学生生活について

農業生産科学専攻博士前期課程
植物感染制御工学研究室
佐々木 元

修士二回の佐々木元です。私は現在農業生産科学科の植物感染制御工学研究室に所属しており、松田克礼先生のもとご教授いただきながら、トマト青枯病菌について日々研究を行っております。しかし、研究は実験を行えば思い通りの結果が得られるわけではありません。また私が扱っているのは自然の微生物でありますので、条件がひとつ変わりますと、結果がばらばらになってしまいます。ただし、本研究室では先生方をはじめ、本研究室に所属する後輩たちとなぜダメだったのか、どのようにすればよいかを議論しあい、その意見を受け入れて実践させてもらえる環境があり、助けられています。特に先生方には私がどうしてもなくなった時には解決策を私にもわかりやすく提案していただき、また実験の待ち時間の時にはさきにお声をかけていただき、非常に良い実験環境です。私の実験はまだですが日々結果を求めて精進しております。

切な資源管理が求められています。昨年12月、光永先生と平成27年度卒業生井畑友理香さん、そして京大の方々とタイ国へ行って参りました。オオナマズを生捕りにすべく、漁業者のウィーさんヌッチさん夫妻に同行し、ライトで刺網を照らしていきます。すると、数十m先に大きな魚体が浮き上がっているのが見えます。『メコンオオナマズだ！』満天の星空の下、我々の間に緊張感が走ります。ウィーさんと私で全長196cmのオオナマズを船縁で保持し、井畑さんが見事な手さばきで発信機を取り付け放流しました。

今回は、受信機からデータを得る調査です。放流したメコンオオナマズ8尾の行動を明らかにし、行動生態に関する知見増大に寄与することで、少しでも地域住民の方々の笑顔に繋がれば良いなと思っています。

大学院での研究

応用生命化学専攻博士後期課程
応用細胞生物学研究室
久後 裕菜

私の所属している応用細胞生物学研究室では、細胞や実験動物を使用して食品成分等の有する機能性を解析し、様々な疾患の予防・治療等に役立てることを目的として研究を進めています。

腹部大動脈瘤 (Abdominal aortic aneurysm: AAA) は腹部大動脈が進行的に拡張し

最終的には破裂に至る疾患で、薬物療法や予防法が確立されていないことが問題です。私はAAAの破裂機構の解明や予防・治療法の確立を目指して研究しています。これまでの研究で、魚油がAAAの発症や進行を抑制させることを明らかにし、研究成果を論文で発表することができました。

現在はAAA破裂機構を明らかにしつつあり、その成果についての論文も投稿中です。直接患者さんに関わることはありませんが、研究の先には患者さんがいることを忘れずに研究生活を送っています。将来的に自分の研究成果で治療を待っている患者さんを救うことを夢んでいます。これからも後悔のないように研究に取り組み、自分の将来に繋げていきたいです。

一味違った大学院生活

応用生命化学専攻修士前期課程
食品機能学専攻
公衆栄養学研究室
藪口 友暉

私が今の研究に出会ったのは、学部生4年で研究室に配属された時でした。研究室に入る前は、研究に対してあまり興味がありませんでした。しかし実際研究に触れ、研究や学問が面白いという一面を知り、私はどんどん研究にのめり込んでいきました。そういった経緯で今に至るのですが、大学院生になって感じていることは、今までの自分とは研究のほんの一端しか知らなかったということです。学部生時代は先生の指導を受けてデータを集め、結果を出すことが「研究」だったのですが、今では自分自身で「研究」の方向性や着目する因子を決定してから、それを検出するための方法を自ら学び、行い、データを得て考察することが「研究」だと気づきました。「研究」は自ら考え、行わな

ければならないということですよ。学部生の頃の「研究」とのギャップは大きいですが、それが大学院生ならではのやりがいにつながっています。今後、悔いのないようにやりきたいと思っています。

大学院への進学と研究の日々

環境管理学専攻博士前期課程
里山生態学研究室
川崎 彩花

私は、資源循環の観点から、ダムや湖沼から浚渫した底泥を栽培土として利用したブルーベリー栽培に取り組んでいます。一般的にブルーベリーの栽培に使用されるピートモスという土壌資材は、日本では輸入に頼っている有限な資源です。ピートモスの安価な代替資材の開発は、ブルーベリーの生産コストを下げ、また、資源の保全にも繋げることが期待されます。そこで、下流生態系への影響や貯水量低減の原因として問題視されるダム底泥に着目し、ピートモスの代替資材として有効活用することで、経済面と環境面から本種の栽培に貢献することを目指しています。

研究室では様々な実験やフィールドワークに取り組むことができ、非常にやりがいのある学生生活を送っています。学会やゼミなどで、人前で話す機会や学外の方と交流する機会もあり、まだまだ勉強不足ですが、日々成長している実感をしています。

題となっており、新種の抗生物質の開発が急がれています。そんな中、この分子生物学研究室ではまさにその新種の抗生物質についての研究が行われていました。私自身が身近な医療の問題に対して貢献できる研究に携わることができ、ことに興奮し、分子生物学研究室に志願しました。そして念願の分子生物学研究室に配属が決まり、研究を始めてみると、研究の奥深さや未知への追究に対する面白さを知り、大学院に進学することを決意しました。

教員の学会受賞者

2014年4月～2016年3月

受賞日順	受賞者	所属 (受賞時)	受賞学会	受賞内容	タイトル
1	池上 甲一	環境管理学科 環境政策学研究室	地域農林経済学会	特別賞	「シリーズ 地域再生14 農の福祉力 アグロ・メディコ・ボリスの挑戦」 農分協、2013年7月
2	早坂 大亮	環境管理学科 水圏生態学研究室	GEOMATE International Society The Fourth International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment (USQ, Brisbane, Australia)	Best Paper Award	Role of a Retaining Wall Constructed of Natural Stones in Plant Biodiversity
3	伊藤 智広	水産学科 水産利用学研究室	日本水産学会 平成26年度	水産学奨励賞	藍藻類イシクラゲをはじめとする天然物に含まれる機能性成分に関する研究
4	山根 浩二	農業生産学科 作物学研究室	日本作物学会 第239回 日本作物学会講演会	日本作物学会研究奨励賞	塩ストレス下におけるイネの葉緑体微細構造変化とその生理的意義に関する研究
5	木村 彩子 小川 貴央 作山 治美 田茂井 政宏 重岡 成	バイオサイエンス学科 植物分子生理学研究室	日本農芸化学会 2015年度大会	トピックス賞	ラン藻FBP/SBPase遺伝子導入によるユーグレナのバイオ燃料生産性の向上
6	大沼 貴之	バイオサイエンス学科 バイオ分子研究室	一般社団法人日本応用糖質化学会 日本応用糖質化学会 平成27年度大会(第64回)	奨励賞	キチン質分解酵素の構造と機能および利用に関する研究
7	八丁 信正	環境管理学科 国際開発・環境学研究室	国際水田・水環境工学会 (PAWEES) 2015年国際水田・水環境工学会 (PAWEES) 国際会議	PAWEES 国際賞 (International Award)	-----

食べて美味しい巨大魚
『メコンオオナマズ』の
生態解明に向けて

水産学専攻博士後期課程
漁業生産システム研究室
山根 央之

私は、超音波発信機を取り付けたメコンオオナマズの周年に渡る行動生態の把握を目指しています。本種は、乱獲や生息地破壊により絶滅に瀕しているため、生態解明と適



私が今の研究に出会ったのは、学部生4年で研究室に配属された時でした。研究室に入る前は、研究に対してあまり興味がありませんでした。しかし実際研究に触れ、研究や学問が面白いという一面を知り、私はどんどん研究にのめり込んでいきました。そういった経緯で今に至るのですが、大学院生になって感じていることは、今までの自分とは研究のほんの一端しか知らなかったということです。学部生時代は先生の指導を受けてデータを集め、結果を出すことが「研究」だったのですが、今では自分自身で「研究」の方向性や着目する因子を決定してから、それを検出するための方法を自ら学び、行い、データを得て考察することが「研究」だと気づきました。「研究」は自ら考え、行わな

私は高校の頃から生物学が好きで、農学部バイオサイエンス学科に入学しました。そして当研究室に出会いました。近年、医療現場では、抗生物質に対する耐性菌の出現が問



農学部サクラ

名誉教授

竹内史郎

農学部キャンパスに桜の植樹が多いことは周知のことであろう。校地は総面積百十余ヘクタールもある広大なものであるが、元は国有自然林であり、生駒金剛国定公園に隣接する景観保存地域であった。分譲条件は大変厳しく土地造成は全体の二十%以内、建物は高さ十メートル以下で周辺との景観の調和を乱さないこと等々であった。

したがって、当初の大学の計画でも広い前庭や中庭を配し、大きく育つケヤキ並木を作ったり、他にも多種多様な樹が植えられ、本部でできないことを此処でやるようであった。

新キャンパスへの移転は平成元年四月であった。研究室や実験室など本部時代とは様変わり、眺望も申し分なく望外の幸を感じた。

引越騒動が一段落すると、爾後の緑化が問題となり、特別委員会を編成して検討された。

それとほぼ同時に米虫先生の斡旋によって日本サクラの会から染井吉野種の若苗木百本ご寄贈を受け、園芸クラブの学生、教職員その他の有志者によって、校地奥の調整池の周辺に植付けた。翌年にもまた百本のご厚情を受け、植樹問題は土地不足になつて解決した。最後に植樹祭につい

て、緑友会の記録によると平成六年十月六日に、再生緑友会の第一回総会が営まれ、記念パーティーと午後の植樹祭がセットにされた。移転記念を象徴する中心木は枝垂桜に決めたが、鉢入れに際し委員長として私は、この桜には四百年以上の長命の樹齢を託し、人の交代は数十回、校舎の改築も八回以上の永続性を記念したものであることを述べたと記憶している。



枝垂桜



染井吉野

農学部祭の案内

今年も毎年恒例となりました「農学部祭・飛鳥祭の季節がやってまいりました。今年の農学部祭は11月1日(火)から11月3日(木・祝)までの3日間開催する予定です。現在、農学部祭実行委員会や各参加団体が日々農学部祭にむけ準備・活動しています。農学部祭実行委員会では今年も農学部祭の象徴であるパスロータリー側の入口に設置する凱旋門や渡り廊下上に設置する巨大壁画の製作やステージ企画の考案に取り組み、手作り感溢れる農学部祭にすべく日々努力しています。農学部祭の構成としては、初日は在校生のみ参加する体育祭が行われ、2日目・3日目は一般の方も楽しめる文化祭が行われるという形になっています。2日間行われる文化祭の中では、毎年近大マグロの解体ショーが行われ、昨年も今話題の近大マグロが無料で試食できるとあって、多くの方々にお越しいただきました。その他にも、ご家族で楽しめるヒーローショーやお笑い芸人のライブ、各研究会系クラブ団体の展示会や部活や研究室で出店する模擬店など、各種イベントが目白押しです。今回の農学部祭は記念すべき50周年の節目であり、例年のイベント企画をさらに進化させ、より来場者・在校生ともに楽しめる農学部祭を開催したいと考えています。卒業生の皆様方や地元住民の方々、在校生全員が楽しめる農学部祭を農学部祭実行委員会が中心となり、農学部生一丸となって作り上げていこうと思います。ぜひご期待くださいませ。当日の皆様のお越しを学生一同、心よりお待ちしております。



近畿大学農学部実行委員会

緑友会会報原稿募集のお願い

緑友会会報は、同窓生の皆様を結びつける年に一度の会報です。たくさんの方からの寄稿をお待ちしています。原稿の形式は特に問いません。お気軽にお寄せいただければ幸いです。緑友会事務局又は、研究室の先生宛にご送付下さい。



連絡先：近畿大学農学部 緑友会事務局
〒631-8505 奈良市中町3327-204
電話 0742-43-7273 (内線2030)
メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

緑友会名簿訂正 (変更) 届

氏名	卒業学科	年 度
所 属 研究室		
現 住 所 (〒)		
勤 務 先	会 社 名	住 所 (〒)

住所等間違っていた、あるいは変更がある場合、この用紙を緑友会事務局までお送りください。お電話、メールでお知らせいただいても結構です。
連絡先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273(内線2030) メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

平成27年度近畿大学農学部緑友会事業報告

月 日	項 目	場 所
4月14日	運営委員会	C会議室
5月15日	終身会費納付書発送(645通) 幹事会	
6月6日	1)平成26年度事業報告 2)平成26年度決算報告 3)平成27年度事業計画(案) 4)平成27年度予算(案) 5)その他	第1会議室
8月21日	終身会費納付書2回目発送(385通)	
9月1日	在学生名簿調査完了	
12月18日	会報第20号会員へ発送	
平成28年1月15日	終身会費納付書3回目発送(248通)	
2月9日	終身会費未納者を6学科に通知	C会議室
3月 8日	委員会	
3月18日	緑友会賞 授与	

平成27年度近畿大学農学部緑友会決算

<卒業者部会> (単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	3,875,108	郵便費	1,331,935
終身会費(繰越4名分)	40,000	印刷複写費	1,380,449
終身会費	4,350,000	会議会合費	65,000
広告掲載料	80,000	人件費	1,130,976
会報印刷・郵送代の負担金(学生部会より在学生分)	274,900	緑友会賞	110,000
寄付金(卒業生より)	10,000	雑費	147,146
利 息	862		
		支出の部計	4,165,506
		次年度繰越金	4,465,364
合 計	8,630,870	合 計	8,630,870

会計幹事 上田茂登子 会計幹事 武田 徹
上記のとおり、監査いたしました結果適正であります。
平成28年3月31日

監 事 小林 徹
監 事 谷 哲弥